



東アジア共同体評議会会報

The Council on East Asian Community Bulletin

Summer 2007 Vol.4 No. 3

「共同体構築の全体構造」作業部会開催

「東アジア・シンクタンク・ネットワーク (NEAT)」のシンガポール年次総会が8月20日-22日に迫っているが、日本国際フォーラムの主催する「東アジア共同体構築の全体構造」作業部会 (WG) は、同総会に提出する報告書作成のため6月13日-14日に東京でその国際会合を開催した。

国際会合は、6月13日の伊藤憲一東アジア共同体評議会議長主催夕食会で開幕し、14日は丸1日をかけて「非伝統的安全保障問題のための地域協力の推進」の総合テーマのもとで「越境的犯罪」、「環境保護」、「伝染病」に関するセッションが開催された。

冒頭、白石隆WG主査より基調報告がなされたあと、本名純立命館大准教授、マハーニ・ザイナル戦略国際問題研究所長 (マレーシア)、ノエル・モラダ戦略開発問題研究所長 (フィリピン)、村上正泰当評議会常任副議長代行がセッション I~IVの議長を務め、ラン・ベン・イール国立大学教授 (シンガポール)、キエ・ミント戦略国際問題研究所代表 (ミャンマー)、スー・



活発な意見が飛び交う作業部会

ハオ中国外交学院教授 (中華人民共和国) など ASEAN、中国、韓国からの参加者14名と日本側のその他参加者5名が出席して、活発な議論を行った。

「越境的犯罪」に関するセッションでは「『人身売買』と『非合法移民』の定義の違いを整理せよ」、「環境保護」に関するセッションでは「地域や国でなく、コミュニティ・レベルでの協力を活性化せよ」、「伝染病」に関するセッションでは「鶏インフルエンザの予防のため、人の移動をモニターせよ」などの発言がなされた。

この国際会合の報告書は、NEAT年次総会に提出されたあと、「ASEAN+3首脳会議」にも報告される。

政策本会議 「東アジア金融協力」

4月24日に開催された第20回政策本会議は、内海亨当評議会前副議長・日本格付研究所社長を報告者に迎え「東アジア金融協力の可能性と展望」について審議した。

内海氏は、直前に上海で開催されたNEATの「東アジア金融協力」作業部会国際会合に出席した感想を踏まえながら、「東アジアでの早急な通貨統合は無理だが、漸進的な金融協力は可能だ。旧ASEAN 6ヶ国が先行してサブグループを作り、外に対してフロートする、それを日中韓がフォローするという、ワイダーバンドしながら広がってゆくという進化の姿を思い描いている」と述べた。

これに対して、出席者からは「共産党一党体制下で人民元のフロートはそもそも可能か」などの質問が出た。



報告する内海当評議会前副議長 (中央)

正副議長会・運営本会議開催さる

当評議会は6月1日からの新年度入りを控えて、4月12日に正副議長会、24日に運営本会議を開催した。正副議長会には伊藤憲一議長のほか副議長15名が、また運営本会議には議員83名が出席した。正副議長会、運営本会議ともに、当評議会第4年度 (2007年度) の活動計画案、収支予算案等を審議し、原案どおり承認した。

役員は任期途中のため、選任された新役員は空席となった役員の後任者に限られ、寺田晴彦国際金融情報センター副理事長と村上正泰日本国際フォーラム研



究主幹 (写真) が新しく副議長に選任された。

なお、村上新副議長は、杉内直敏日本国際フォーラム参与の退任に伴い、日本国際フォーラムを代表する後任副議長に選任されたものであるが、その後5月14日付けで甲斐紀武常任副議長が一身上の都合により辞任したため、同日付けで伊藤議長より常任副議長代行副議長に指名された。

「アジア経済フォーラム」 に平林博議員出席

4月2日-5日、プノンペンにおいて「第3回アジア経済フォーラム」が開催され、当評議会から平林博有識者議員が出席した。フン・セン・カンボジア首相の冒頭演説のあと、平林議員は「地域、世界問題におけるリーダーシップ」と題し、基調報告を行った。下記ホームページで閲覧可能。
(<http://www.ceac.jp/e/commentary/070509.htm>)

NEAT「文化交流」WG

NEAT「文化交流」作業部会(WG)の国際会合が6月7-8日、韓国東南アジア研究所の主催によりジョージアで開催されたが、日本からは当評議会の村上正泰常任副議長代行副議長が出席した。

3つのセッションからなる同会合において村上代は、第1セッション「東アジアにおける文化交流の意義・機能および諸活動」で基調報告を行った。

NEAT「エネルギー」WG

NEAT「エネルギー安全保障協力」作業部会(WG)の国際会合が4月27日、シンガポール国立大学東アジア研究所の主催によりシンガポールで開催され、日本からは当評議会を代表して石田博之日本エネルギー経済研究所研究主幹が出席した。石田研究主幹は、その第1セッションにおいて「東アジアにおけるエネルギー源の多様化」について基調報告を行った。

国際政経懇話会開催



第193回国際政経懇話会は、別所浩郎外務省国際協力局長(写真左端)を講師に迎え、「岐路に立つ日本の経済協力外交」と題し、4月19日に開催された。

別所局長は「日本のODAは過去10年で4割削減されたが、日本外交にとっては最も重要な手段であり、日本らしさを出してゆきたい。現在の日本の海外援助は二国間援助からグローバルな問題へと目が向けられつつある。中でも特に重視されているのが環境援助である」などと語った。

3-5月の「百家争鳴」

当評議会政策掲示板「百家争鳴」は、4月に開設1周年を迎えたが、この間に寄せられた投稿は250通を越えた。

3-5月の投稿中の主なものは、下記のとおり。ご関心のある向きは当評議会のサイト <http://www.ceac.jp> にアクセスありたい。

- 5/22 「東アジア共同体と『人間の安全保障』」(安江則子)
- 5/9 「日本のモノづくりは東アジア共同体と両立するか」(細川大輔)
- 5/7 「『俵物三品』と日中関係の今昔」(櫻田淳)
- 5/4 「アジアにおけるバランスとしての米国」(河東哲夫)
- 4/30 「東アジア共同体に対するASEANの姿勢」(山下英次)
- 4/22 「アジアで求められる『学』レベルでの連携強化」(岡本由美子)
- 4/20 「温家宝首相の訪日と東アジア共同体の構築」(石垣泰司)
- 4/10 「中国の新たな外貨準備運用機関は必要か」(村上正泰)
- 3/14 「同盟の危機—多国間安全保障枠組み—」(鈴木肇祐)
- 3/8 「従軍慰安婦問題と日米関係の歴史的文脈」(滝田賢治)

■新規役員の紹介

(3月-5月分、就任順)

【副議長】

- 寺田 晴彦 国際金融情報センター副理事長
- 村上 正泰 日本国際フォーラム 所長代行研究主幹

■新規入会議員の紹介

(3月-5月分、入会順)

【有識者議員】

- 服部 健治 愛知大学教授
- 細川 大輔 大阪経済大学教授
- 櫻田 淳 東洋学園大学准教授
- 武貞 秀士 防衛研究所統括研究官
- 中谷 和弘 東京大学教授
- 平林 博 日本国際フォーラム 参与
- 安江 則子 立命館大学教授

— 謝 辞 —

東アジア共同体評議会の諸活動の主要な財政的基盤は、その経済人議員の納入する賛助会費にあります。現時点における当評議会経済人議員は、下記名簿記載の14社14口です。ここに特記して謝意を表します。

- オムロン株式会社
- オリックス株式会社
- 株式会社伊藤組
- 株式会社三友システムアプライザル
- 株式会社電通
- 山九株式会社
- 新日本製鐵株式会社
- 住友商事株式会社
- セイコーエプソン株式会社
- 東京電力株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 三井物産株式会社
- 三菱商事株式会社
- ありがとう基金

[入会順]

CEAC 活動日誌 (3月-5月)

- ◇ 3月15日 『メルマガ東アジア共同体評議会』(3月号) 配信
- ◇ 4月2-5日 「第3回アジア経済フォーラム」出席(平林博議員、於ブノンペン)
- ◇ 4月4日 NEAT「東アジア共同体構築の全体構造」作業部会国内会合(白石隆主査他9名)
- ◇ 4月7-8日 NEAT中国主催「東アジア金融協力」作業部会参加(内海孚当評議会前副議長、於上海)
- ◇ 4月12日 第10回企画委員会(柿澤弘治委員長他6名)、第7回正副議長会(伊藤憲一議長他15名)
- ◇ 4月16日 『メルマガ東アジア共同体評議会』(4月号) 配信
- ◇ 4月19日 第193回国際政経懇話会(別所浩郎外務省国際協力局長他19名)
- ◇ 4月24日 第5回運営本会議(伊藤憲一議長他82名)
- ◇ 4月24日 第20回政策本会議(内海孚当評議会前副議長他18名)
- ◇ 4月27日 NEATシンガポール主催「エネルギー安全保障」作業部会参加(石田博之日本エネルギー経済研究所研究主幹、於シンガポール)
- ◇ 5月15日 『メルマガ東アジア共同体評議会』(5月号) 配信



東アジア共同体評議会会報 2007年夏季号

The Council on East Asian Community Bulletin

発行日 2007年7月1日

発行人 伊藤 憲一

編集人 矢野 卓也

発行所 東アジア共同体評議会 〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12-1301

Tel: 03(3584)2193 / Fax: 03(3505)4406 / E-mail: ceac@ceac.jp(代表) / URL: <http://www.ceac.jp/>